

マルタン・リュエフ×ガブリエル・ラディカ  
連続公開講演会《第二夜》  
Conférences publiques de Martin Rueff et Gabrielle Radica

いま問い直すルソー、  
その政治と言語の現代的意義  
Rousseau : politique et langage, actualité d'une pensée



## Martin RUEFF

マルタン・リュエフ：ジュネーヴ大学フランス文学教授、詩人・翻訳家。アカデミー・フランセーズより、Grand Prix Henri Gal (2025) および Prix La Bruyère (2019) 受賞。ジャン＝ジャック・ルソー協会会長、*Annales Jean-Jacques Rousseau* 編集長。主著に *La jonction* (2019)、*À coups redoublés: Anthropologie des passions et doctrine de l'expression chez Jean-Jacques Rousseau* (2018) など。

## Gabrielle RADICA

ガブリエル・ラディカ：リール大学哲学教授。ルソーやモンテスキューを中心に、啓蒙期の政治哲学・法哲学・家族論を研究。主著に *L'Histoire de la raison. Anthropologie, morale et politique chez Rousseau* (2008)、*En famille. Sentiments, liberté, reconnaissance. La famille des classiques. Philosophie, droit, histoire* (いずれも近刊) など。

日時：2025年10月30日(木) 16:00～19:00

会場：早稲田大学戸山キャンパス33号館3階第1会議室  
入場無料 予約不要 逐次通訳付

### プログラム

16:00～17:00 講演：マルタン・リュエフ (Martin RUEFF)  
「頭は言語にかたちづくられ、思考は言葉の色に染まる」  
ルソーの言語と思想

« “Les têtes se forment sur les langages, Les pensées prennent la teinte des idiomes”  
- Rousseau, le langage et la pensée »

17:15～18:15 講演：ガブリエル・ラディカ (Gabrielle RADICA)  
現代政治に活かされるルソー  
« L'usage politique contemporain de Rousseau »

18:15～19:00 ディスカッション  
司会：玉田敦子 (中部大学人文学部教授)

お問い合わせ：早稲田大学文学学術院 橋本一径 (hashimoto.kaz@waseda.jp)

主催：早稲田大学総合人文科学研究センター「イメージ文化史」部門

科学研究費基盤研究B「文学による国家創造のプロジェクト：フランス近代における文学教育と国民形成」  
(研究代表者 玉田敦子：中部大学)

科研費  
KAKENHI